

## 麻生区区民会議 第12回地域交流・文化部会 議事要旨

- 1 開催日時 平成23年11月30日（水）午後1時00分～3時35分
- 2 開催場所 麻生区役所第4会議室
- 3 出席者 [地域交流・文化部会委員]  
石井委員、植木委員、魚本委員、菅原委員、竹市委員、田中委員、  
土井委員、柳島委員  
[事務局]  
安生企画課長、阿部企画課担当係長、川里
- 4 傍聴者 0人
- 5 議事
  - (1) 調査審議課題について
    - ア 「区民が主体となって進める芸術・文化のまちづくり」について  
**【報告事項】**
      - ・まとめ（原案）を修正した点について、石井委員から報告された。  
各ヒアリング結果の概要を追加で紹介し、区民参加も意識して作成した。**【主な意見等】**
      - ・「区民主体」の目指す姿が今ひとつはっきりしないように感じる。「芸術・文化のまちづくり」のイメージがあって、そこに向けての構成が望ましいのではないかと。→今まで8つのイベント実施主体（実行委員会等）にヒアリングを行ったのみであり、現状は区民参加にたどり着く前段階と捉え、今後に向けて区民主体の形を作り、その環境を整えたい、という意味での提案にまとめている。  
→「芸術・文化のまちづくり」について、その目指す姿を描くにはもう少し個々の場面を調査検討し、議論しなければならないだろう。
      - ・資料中の「終わりに」部分に「『やまゆり』などの活動団体」とあるが、「やまゆり」は施設名であり、その運営をNPO法人が担っている。表現の仕方を「…麻生区文化センター、あさお市民交流館やまゆり等の施設提供者、文化協会などの活動団体、…」と直した方がよい。
      - ・組織や団体に属さない、個人の活動家などもあまねく含めて、区民が主体となるイメージを抱いているのかもしれないが、今の段階では組織に拠っているのが現実だろう。今後、区民参加の仕方も工夫していかないといけないだろう。  
→あさお市民交流館やまゆりでは、クラフト展を実施した事例がある。  
→たとえば、図書館横スペースで展示している団体にも声をかけてはどうか。
      - ・声をかける人（参加者・担い手）を作り出す必要がある。
      - ・今まで各イベント・事業が個々に運営されていたが、この提案で触れている「文化会議」のような横断的な連携を図ることで、新たな区民参加も期待したい。
      - ・「文化会議」のようなものは、新規参加者の取り込みも期して、第三者的な組織に

しないといけないだろう。

- ・「文化担当官の設置」について、区役所のなかに設置してもらう方がよいと思う。

#### 【確認事項】

- ・この原案をベースに再度修正を行う。

### イ 「第2回区民会議フォーラム」について

#### 【報告事項】

- ・資料に基づき、第2回フォーラム準備の進捗状況（講師を依頼中のNHKとの折衝状況や全体構成案など）、スケジュールやその他確認が必要なこと（パネルディスカッションのテーマと出演者、展示スペース、役割分担など）について、事務局から報告した。

#### 【主な意見等】

- ・パネルディスカッションの出演依頼について、区町内会連合会からはヒアリングを実施した町会に来ていただけるよう、うまく調整してほしい。
- ・休憩時間について、委託業者からの指摘では「講演とパネルディスカッションの間にも設定した方がよいのではないか」とのことだが、例えば「講演の前の休憩を10分から5分とし、講演の後ろにも5分休憩を入れる」というのはどうか。  
→パネルディスカッションの準備にも多少の時間がかかるだろう。  
→「休憩」という言葉を最初から入れると、講演が終わってすぐに帰ってしまう人もいるので、プログラム上は書かない方がよいだろう。掲載するとしても「会場準備」と入れるぐらいだろうか。
- ・パネルディスカッションのサブテーマ（標題）について、内容のイメージが湧くものを置きたい。「高齢者・障がい者などが暮らしやすい環境づくり」では少し長すぎると感じた。
- ・講師が講演するテーマはどうするのか。  
→事務局とNHKで調整の上、なるべく早い段階で確定していただく。但し、すでに最初の段階で「地域の絆づくりに関連したテーマ」として依頼はしている。  
→講師に話していただく内容に合わせてディスカッションしたらよいと思う。
- ・そもそもサブテーマは必要なのか。  
→講師に依頼する際、講演テーマが決まってからディスカッションテーマを合わせるのではなく、出演者と大体のディスカッションテーマを事前にこちらから提示しておいた方が、講師にとっても当日のコーディネートがしやすいだろう。
- ・「現状の無縁社会のままでは大変なことになる」という講演の流れから、「それではどうしたらよいか」というディスカッションテーマにつながるだろう。
- ・部会の審議で「ささえあい活動」がウエイトを占めていることから、それを強調してはどうか。例えば、「ささえあいを育む土壌づくり」「ささえあい活動を進めるには…」などのサブテーマが考えられる。
- ・出演者には、個々の具体的な取り組み活動から「地域のささえあいの現状」を話してもらうことになるだろう。
- ・各出演者にそれぞれの活動を話してもらった上で、ディスカッションするための

1つの共通課題（話題）が必要だろう。

- 「地域の絆を高める工夫」、「地域の絆づくりを進める上での壁とその解消の検討」、「ささえあいに関する住民理解と協力について」などが主に話し合われる共通課題となるだろうか。
- 実際、各出演者は現状を説明した後、「今後はこうしたい」という事くらいしか発言できないのではないか。
- ・他のイベントのパネルディスカッションで、出演者自身が全体テーマをわかっていないような回答をしていたケースを見たことがある。
  - 出演者に大まかなテーマを意識してもらえそうなサブテーマ設定をしたい。
- ・「無縁社会と地域の絆づくり」をテーマに講演、「地域の絆づくり～ささえあい活動を考える」をテーマにディスカッション、という内容で講師に依頼すればよいのではないか。
- ・「無縁社会」よりもむしろ「人間関係の希薄化」の方が問題だろう。
  - 『無縁社会』という言葉は強烈すぎる印象がある。
  - 「住民同士でささえあうこと（地域の絆づくり）が大事である」というのが主であって、無縁社会はテーマの前面に出したくはない。
- ・出演者にどんな発言を求めるのか。区社協や地域包括支援センターは「絆づくり」と直接関わらないようなイメージがある。
  - それぞれの活動そのものが「ささえあい」であり、「絆づくり」を基盤としていると言えるだろう。
  - 両者とも、さまざまな相談を受け、支援をしながら地域の方々をささえている。
- ・地域包括支援センターの役割はとても大きい。住民だけでは繋がるのが難しい局面でも、仲介、公的な相談支援機関として、繋がりをつくる手助けもしている。
- ・講師に依頼する講演内容と、各出演者に依頼するディスカッションテーマが乖離しないように気をつけなければならない。
- ・展示ブースについて、別室にすると見てもらえなくなる可能性がある。
  - 展示物の量にもよるだろう。もちろん、1室内に収まるのならばその方がよい。
- ・「ご近所防災マップ」をささえあい活動の一例として、展示ブースに出展したい。
  - 区民会議としての展示なのか、その他のさまざまな活動としての展示なのか。
  - そもそも「展示」の話が出たのは、区社協などにヒアリングした際、各ボランティア団体等の活動をPRする機会を作ってほしいという声からだった。フォーラムにおける展示の趣旨やこれまでの審議の流れから、「ご近所防災マップ」はその趣旨から外れるのではないか。
- ・区民会議としてはどういう風に展示するのか、今まで議論されていない。
  - 全体としての「区民会議の報告」があって、その下に事例紹介の1つとして例えば「ご近所防災マップ」を展示するのか。いずれにせよ、今後、企画部会に提案し、パネルの枚数や各部会ごとのまとめ方、など具体化する必要がある。
- ・「文化・芸術」部分は、各イベントを写真も入れて紹介できるだろう。
- ・「高齢者…」部分は、展示物として示しにくい。
  - 第1、2期の区民会議フォーラムでは、区民会議の展示ブースでは「区民会議ニュース」や冊子など既存の作成物と、周知用「区民会議パンフレット」を置き、

改めて展示用にまとめ直した資料などは掲出していない。

- ・「ご近所防災マップ」は、一町会内での許可を受け、地域（マンション）内で具体化の試行に取り組んでいるが、町会活動の事例にはまだなっていない。  
→町会の承諾があれば、「〇〇町会〇〇班の活動事例」として展示ブースに出展できるかもしれない。町会の承諾がなければ、「〇〇地域（班）での事例」という出し方になるだろう。  
→当日の参加者（特に町会）から質問される可能性がある。その際、あくまで1つのマンションでの活動事例として紹介するに留まるだろう。

#### 【確認事項】

- ・「役割分担」について、次のとおり確認した。（掲載以外は後日調整）

役割	氏名	役割	氏名
会場設営責任者 (会場)	竹市	挨拶	武濤委員長 (+区長)
会場設営責任者 (展示ブース)	田中	区民会議報告	竹市、菅原 ※ほか2部会からも選出。
受付/会場案内	※環境・緑化部 会に依頼。	パネルディスカ ッション出演	石井
司会	植木	パワーポイント係	事務局

- ・講演の後の会場準備の間、講師には一度控え室に戻ってもらい休息してもらう。（プログラム上、講演とパネルディスカッションの間に「休憩」は設けない。）
- ・ディスカッションのサブテーマの文言については、本日の審議内容も踏まえ、後日改めて調整する。
- ・当日の会場について、講演と展示を一括にするか分けるかは、各依頼先団体から提出いただいた展示資料の集まり具合によって、流動的に決めることとする。
- ・出演者の名札や掲示物、マイク等の備品については、事務局で用意する。後ほど、当日必要なものを一覧で提示して各委員に確認いただく予定である。
- ・区民会議の展示ブースについては、従来どおり、「区民会議ニュース」や作成済みの冊子、周知用のパンフレットなどと置くものとする。（改めて展示用の資料を作成はしない。）

#### イ 「高齢者・障がい者などが暮らしやすい環境づくり」について

##### （「ささえあい活動」推進の提案について）

#### 【報告事項】

- ・前回の審議内容を受け、「ささえあい活動」の推進についてまとめ直した提案を、資料に沿って土井委員から報告された。

#### 【主な意見等】

- ・今まで議論されてきたことの骨格はほぼ資料中に謳われており、この骨格をもと

に、全体の位置づけ（全体との兼ね合い）も含めて文言の加除修正などを見てもらいたい。

- ・「芸術・文化のまちづくり」の資料と同じようなまとめ方をしてはどうか。
- ・裏面の添付資料をそのままの形で使うのか。
  - どういうものが「ささえあい事業」かの最低限の参考情報に触れておかないと、実際に主体となって進める時、何をしてよいかわからないこともあるだろう。
  - 修正したものを参考資料として、表の骨格に合わせて出した方がイメージが湧いてよいだろう。
  - （以下、資料の修正に関する意見等）
  - 「4 自治会等の本活動の運用体制」部分は、どのくらいの規模を想定しているのか。町会の実情に即していないように思われ（通常、町会では自然体で各取り組みを行っている。また自主的にやってほしいとしても何をやってもらうのかを具体化しないとわからない。）、削除した方がよい。
  - 「5 支援の内容」部分の記載は非常に素晴らしいことが書かれていると思う。
  - 「3 展開方法（イ）」部分について、区役所地域振興課にはすでに区町連担当があるが、新たに担当官を設置する必要があるのか。
  - 「ボランティアグループ等活動助成」（3（ア）と6部分）の制度運用も実際は難しいだろう。
  - 「地域内の…募集や推薦等により集め」（4（イ）部分）について、地域の担い手づくりをより意識して考えないと人は集まらないだろう。具体的には、毎年シニア成人学級などを開催して積み重ねていく活動が想起される。
  - どういう人材を活用しようかの案を記しただけで、担い手づくりの方法論をここでは取り上げていない。
  - ささえあいの土壌作りとして、小地域の活動はどうやったら根付くだろうか。
  - 「6 運用方法」について、お金の絡む事項に触れるのは難しいと思う。
  - 「7 運用手続き」も削除した方がよい。
  - 地域包括支援センターの果たす大きな役割に触れてもよいのではないか。
  - 菅原委員が以前提出されたレポートにある、具体的な絆づくりの事例にも触れておきたい。

#### 【確認事項】

- ・資料（表面）はそのまま活かす。
  - ・資料（裏面）「ささえあい活動推進の提案」をまとめ直す。（簡略イメージ）
    - 1 活動の目的
    - 2 提案の趣旨
    - 3 展開の方法 ※（ウ）のみ残す
      - ・町会として、地域住民の絆を作るイベント・催事を計画する
      - ・地域の人は地域包括視線センターをうまく活用する
    - 5 支援の内容
    - 8 活動の地域PR
- +α（具体的な活動）①絆づくりの事例、②地域包括支援センターの役割 ほか

## (高齢者の交通手段確保関連)

### **【報告事項】**

- ・コミュニティバスの運行に関する区町連からの要望などについて、柳島委員から報告された。

### **【主な意見等】**

- ・交通空白地域があるのに対して、市当局の回答は「地域の方々が…熟度に応じた支援…」となっており、期待できない。区の事業による支援を期待したい。  
→行政の事務分掌として、市と区で同じことはできない。また、コミュニティ交通の支援については、ステップを踏んで進めていくものであり、その辺りについて次回部会にて事務局より資料等を提供し、説明させてもらいたい。  
→区の地域課題対応事業予算からはコミュニティバス関連の運営経費を出せない。
- ・高石地区のコミュニティバスについても、非常に長い年月がかかった。
- ・高石地区を除く3地区の話を聞いてみたい。
- ・現在運行中の「やまゆり号」の評価をベースにまとめてみてはどうか。
- ・稲城市の例と川崎市の方針の違いもある。

### **【確認事項】**

- ・次期区民会議に地域課題として引き継いでほしい、という希望のみに留める。
- ・今期の取り組みとしてアンケートは実施しない。

## (Ⅶ コミュニティ・メンタルヘルス・ネットワーク)

### **【確認事項】**

- ・今期の区民会議としては、この項目について活動しないことを確認した。
- ・次期区民会議で触れてほしい、という希望のみに留める。

## (2) その他

### **【報告事項】**

- ・「麻生区地域課題解決型提案事業」の募集開始とその審査委員を区民会議からも選出すること（企画部会にて選出）、区制30周年に伴う「区の花と木」の募集開始時期（12月15日～）、かわさき自治推進フォーラム2012における「区民会議交流会」開催（武濤委員長・金光部会長・福田部会長が出席予定）、の各情報について、事務局より報告した。

### **【確認事項】**

- ・次回は1月13日（金）13時30分から、区役所第3会議室にて第13回部会を開催する。引き続き、第2回フォーラムの詳細を詰めるとともに、第3期報告の最終案を検討する。